

授業のヒント

今回は、漢字をはじめて教えるときの導入法を紹介します。

テーマ 漢字の導入 (オリエンテーション)

目的	・漢字学習のポイントを知り、今後の漢字学習に役立てる。
学習者のタイプ	・初級 (漢字の入門)
クラスの人数	・何人でも
準備するもの	・特になし (練習用シートは適宜、付録の漢字カード)

非漢字圏の日本語学習者にとって漢字の学習は難しく、時には苦しいものです。漢字をはじめて教えるときには、学習者が漢字に興味を持って学習のポイントを理解し、これから楽しく、そして効率的に勉強できるような導入 (オリエンテーション) をしましょう。

◆漢字はいつ使うのか

はじめに学習者にひらがな、カタカナ、漢字がまじった文を見せます。文は学習者に合わせて教師が短文を作っても、日本のマンガや広告などの生教材を使ってもいいでしょう。学習者がこれからの漢字学習に興味を持ってもらう材料をさがしてください。

そして、日本語には漢字・ひらがな・カタカナの3種類の文字があることを確認して、それぞれの文字の使い方を説明します。日本語の文字の使い方のルールは本来はゆるやかなもので、例外もたくさんありますが、入門段階の学習者には、ポイントをしばって、それぞれの文字の基本的な使い方がわかるような説明をしましょう (以下は説明のポイントを簡単にまとめたものです)。

- **カタカナ**：外国の人名・地名、外来語、擬音語・擬態語などを書く。言葉を目立たせるために使うこともある。
- **ひらがな**：カタカナで書く言葉以外は何でも書ける。助詞・助動詞と活用語尾は必ずひらがなで書かなければならない。副詞や接続詞もひらがなで書く。

らがなで書くことが多い。

- **漢字**：カタカナとひらがなで書かなければいけない言葉以外はだいたい漢字で書くことができる。日本の人名・地名をはじめ、日本人の生活では漢字が広く使われている。

◆どうして漢字を使うのか、漢字はいくつあるのか

漢字を教えると、学習者からこのような質問を受けることがあります。

日本人の漢字使用には歴史的な経緯がありますが、ここでは学習者の学習意欲を高めることが目的なので、以下のように日本人が現代の生活で漢字を使う利点を説明しましょう。

- 漢字には意味があるので、言葉の意味が推測しやすく、記憶しやすい。
- かなだけの文より漢字がある文のほうが読みやすい。
- 漢字を使うと字数を減らすことができるので、限られたスペースにたくさんの情報をのせることができる。

次に漢字の数ですが、現在の日本人の日常生活で使う漢字の目安として「常用漢字」1,945字があります。学習者にとってはこれが1つの目標になると思いますが、参考に以下のような数字をあげてもいいでしょう。

- 日本で一番大きい漢字辞書 (『大漢和辞典』大修館書店) の収録字数 約5万字
- 日本語能力試験の漢字数

4級	3級	2級	1級
100字	300字	1,000字	2,000字

◆漢字はどのようなものか

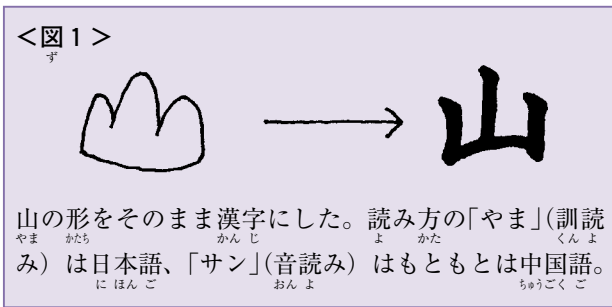
以上のように、日本語学習では漢字が大切なことを学習者に納得してもらったうえで、いよいよ漢字そのものを導入します。

学習者は漢字を学習する前にななを習得しているので、最初以下のような漢字とかなの違いを紹介します。

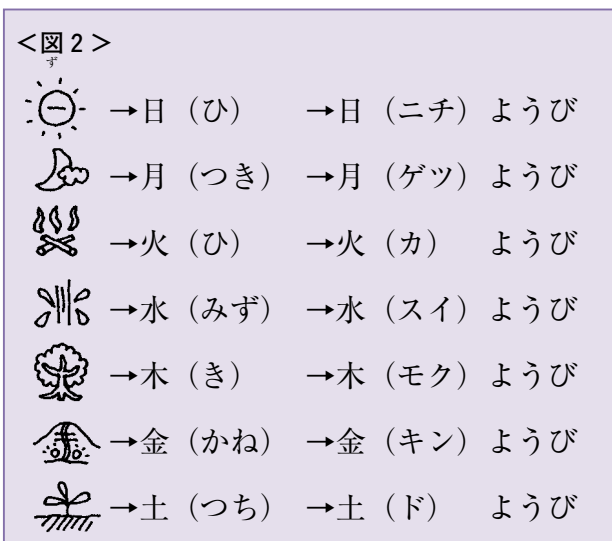
- **かな**：漢字から作られた日本の文字で、形と音はあるが意味はない。そのため、形と音を覚えればよく、数も少ない。

●漢字：もともとは中国の文字。最初は絵や記号から作られたので、形と音の他に意味がある。また、ほとんどの漢字には、日本語の音（訓読み）と中国語の音（音読み：漢字が日本に伝わったときの音で、今の中国語とは違う）がある。そのため、形と音（複数）と意味を覚えなければならず、数も多い。

そして、たとえば「山」という漢字を例にとって、次のような説明をします。

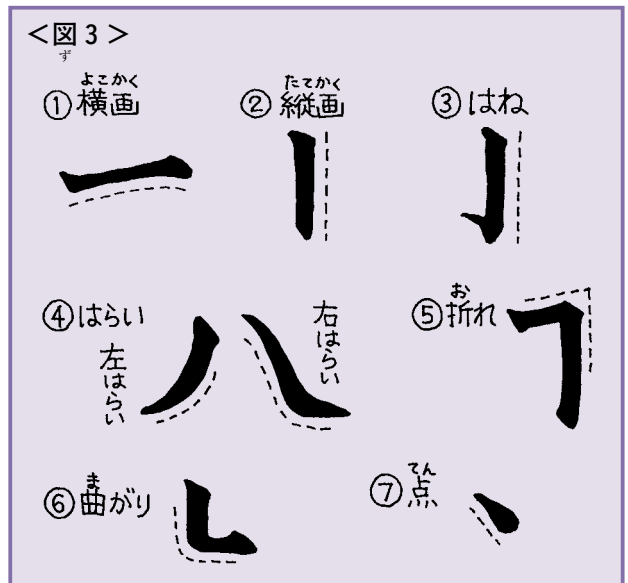


このような「絵からできた漢字」には、たとえば曜日を表す以下のような漢字があります。カードやパズルを使って、絵と漢字を結びつけるゲームをしてもいいですよ。



◆漢字の書き方

次に漢字を書く練習をします。最初は漢数字「一、二、三、四、五、六、七、八、九、十」を練習させましょう。漢数字の読み方や意味はアラビア数字(1、2、3...)と同じですから、特に説明する必要はありません。そして、漢数字には以下のような漢字を書くときに必要な線（筆画）がすべてふくまれているので、漢字の書き方の基本を身につけることができます。



特に「はらい」や「折れ」、「曲がり」は漢字を書くときにとても大切なので、ていねいに説明して正しく書かせましょう。なお、このときに毛筆や筆ペンを使うと気分が出て楽しいだけではなく、正しい筆画を身につけるのにも役立ちます。

◆漢字カレンダー

漢数字が正しく書けるようになったら、クラスで「漢字カレンダー」を作ってみましょう（付録として付けた実物大のサンプルを見てください）。

漢字カレンダーを作るときは、漢数字を何度も書くことになるので、筆画の練習にもなります。最初に紹介した曜日の漢字も漢数字と同じように練習します。グループに分かれて1年分のカレンダーを作るといいでしょう。

◆漢字を増やすために

以上のように、漢字をはじめて教えるときに漢字学習のポイントを紹介することは、これからの学習に役立ちます。同じように、漢字の学習の進み方に合わせて、いろいろな漢字学習のポイントを紹介すると、学習者は効率的に漢字を増やすことができます。そのような方法については以下にあげた教材を参考にしてください。

参考文献

- 『教師用日本語教育ハンドブックシリーズ 新表記』国際交流基金日本語国際センター 1994
- 『日本語教師のための漢字指導アイディアブック』創拓社 1995
- 『漢字がたのしくなるシリーズ』太郎次郎社 1989-98
- 『BASIC KANJI BOOK vol.1-2』凡人社 1990

